

第1回富士山山開き!!



〈安全祈願祭〉



〈農産物販売も大盛況〉

7月13日(日)、小雨模様のなか、小清水集落の真新しい案内板の前で富士山を望みながら安全祈願祭が行われ、午前8時30分から受付が始まり、小学2年生から83歳まで総勢62名が集まりました。

開会式では、富士山山開き実行委員会長(長谷沼清吉さん)が、「記念すべき第1回の山開きに多くの方に参加していただきありがとうございます」とあいさつ、続いて、小清水自治区長(貝沼茂雄さん)が「下山したらおいしいおにぎりとかじら汁が待ってます」と歓迎、最後に小土山活性化実行委員会長(橋谷田弘由さん)より「自然を満喫しながら登山を楽しみましょう」とあいさつがありました。

いよいよ漆窪口に向かって出発。山頂までの急な坂はロープの手すりを使って登り、一息。杉や栗の木を伐採して所々に見晴らしの良い場所を作り、途中でも楽しめるよう工夫されていました。帰りは立岩口で下山、狸(むじな)石の清水を飲みながら陳ヶ峯峠を歩いて戻りました。同行した長谷沼清吉さんが富士山にまつわる歴史を説明し、登山者にとっても好評でした。

参加者には、予告どおり小清水産コシヒカリを使ったおにぎり2種と本物のくじら汁をサービス。また、野菜やきくらげなどを販売し、大盛況でした。なお、当日の様子は、福島民報と福島民友に掲載されました。



〈二日間ともおにぎりとかじら汁を提供〉

前日にはプレ山開き!

山開き1日前の7月12日(土)、小清水出身の山口喜久夫さんのお仲間30名が福島市から観光バスでお越しになりました。今回は泥浮口から登り、小土山地区の立岩口で下山されました。

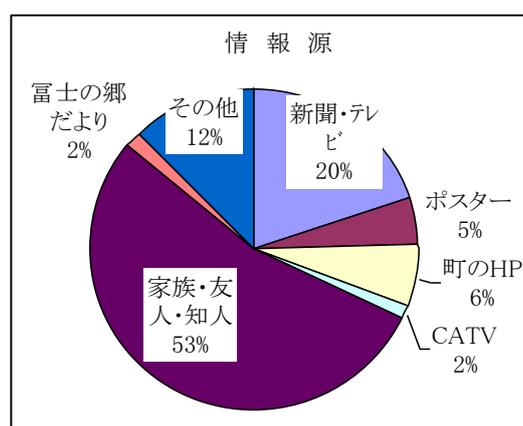
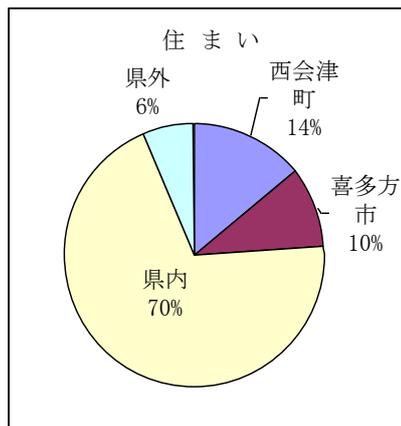
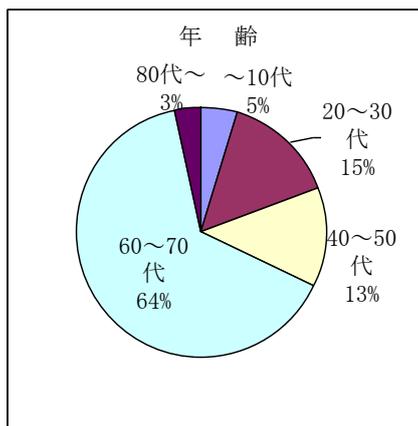
昼食には、本番と同じようにおにぎりとかじら汁を準備しました。初めて食べる方もいらして、「みなさん、おいしい!」と召し上がっておられました。



〈下山した立岩口にて〉

第1回富士山山開き アンケート結果 (回答数63名)

たくさんの感想や要望を頂きました。次回に活かしていきたいと思います。

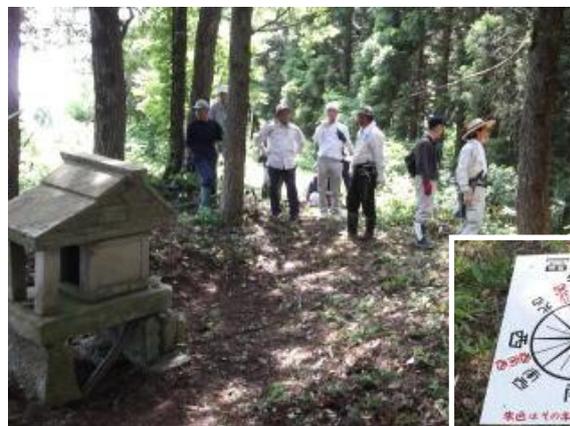


感想: 心温まるもてなし(11名)、楽しかった(10名)、おいしかった(8名)、歴史のガイドが良かった(7名)、また来たい(5名)、登山道・景観整備が良かった(4名)

要望: ・富士の郷だより等発信物が集客に役立っているのか調べたい ・富士山バッチ ・そば ・町の遺産登録に ・山頂をもっと見晴らしよく ・登山証明書を ・手すりのロープがもっとほしい ・見晴らしの良い場所に案内板を ・来年は手伝いたい

横浜からボランティア

山開きの一週間前の7月5日(土)、横浜の IT 会社(株)富士ソフトさんから7名のボランティアが来られ、5日は寺前自然塾の菜種落とし、6日(日)は富士山道の草刈りに混ざって坂のロープ張りや山頂の整備、方位板の設置を手伝っていただきました。ありがとうございました。これからも機会があればお力をお借りできればと思います。



↑頂上での作業



↑設置された方位板↑



登山口に案内板

山開きに先立ち7月8日(火)、小清水には富士山の案内板、漆窪と泥浮に登山口の案内板が設置されました。それぞれに地図が載っておりどこからでも登りやすくなっています。これからは登山者に活用してもらえると期待しています。

「富士の郷」のホームページができました！

貝沼真さんがHPを作成しました。
イベントや日々の出来事を載せています。
ぜひ、アクセスしてご覧ください。

[西会津富士の郷]<http://www.nct.ne.jp/fujinosato/>



山頂に表示板設置

8月12日(火)、金山町の小塩里美様より富士山頂上の表示板を寄贈していただきました。関係者が交代で担いで登り、設置いたしました。ありがとうございました。



〈帰省中の桑原森次さんに応援していただきました〉

ありがとうございました

泥浮の橋谷田四郎様・タイ子様ご夫妻と会沢ファミリー様より、ふるさと応援金を頂戴しました。事業活動のため有効に使わせていただきます。

当面の予定

| | | |
|-----------|-----|--------|
| 9/9 | 秋祭り | 漆窪・泥浮 |
| 11/23 | 収穫祭 | 漆窪・泥浮 |
| 11/25 | 収穫祭 | 小清水 |
| H26. 1/15 | 歳の神 | 小清水、漆窪 |
| 1/24 | 春会 | 漆窪 |

花いっぱい運動のグラジオラスが咲きそろいました



山口元子さん宅

各家庭に20個ずつ配ったグラジオラスが7月初めから咲き始め、8月半ばまで赤、黄、紫、白、ピンクの花が咲き誇りました。



桑原豊士さん宅

充輝くん、大奮闘!!

7月14日(月)、福島市の信夫ヶ丘球場で夏の高校野球福島大会が行なわれました。この大会には、小清水の貝沼充輝君が会津北連合の選手として参加しました。会津北連合チームは、西会津高校、喜多方東高校、坂下高校、猪苗代高校の4校で編成されたチームです。放課後日常的に全員で練習できない困難の中での参加です。

相手は、1回勝ち上がった「福島明成高校」。試合は、1回裏で1点先制点を上げました。しかし、8回裏で同点にされ、延長戦。10回裏で、相手チームに1点を取られ、残念ながら初戦突破はなりませんでした。『充輝くんの奮闘、本当にご苦労様でした』の声援をみんなで贈りたいと思います。



漆窪のお宮の鳥居建立と内部修繕を行いました

今年6月、一昨年倒れてしまったお宮(山神社)の鳥居を新しく建て、内部の修繕を行いました。

以前の鳥居は今は亡き福地二郎さんが若かった頃に建てたと聞いていますから、かれこれ60年前後経過していたと思われます。永年風雨にさらされながらなんとか持ちこたえていましたが、豪雪の影響等もあり2年前ついに倒れてしまいました。3~4軒で管理しているお宮なので、今回は質素な鳥居にしました。今後は除雪の影響を受けないようにしっかりと管理したいと考えています。

また、お宮の内部もその都度補修していましたが、獣の侵入や湿気等により天井板や床板が傷んでしまったため、昭和56年以来の大規模な修繕を行いました。泥浮の会沢畳店さんより畳3畳をご寄

贈いただき、大変きれいになりました。心より感謝申し上げます。

7月2日の半夏の日に、新村の鈴木神官のもと、幣束を納めるとともに落成を祝いました。夕方からは、自治区の「作祭り」ということで、今年の豊年とみんなの無病息災を祈念しました。皆様のご協力により、33年ぶりの遷宮？が叶いました。



…山が泣いている…



<杉の立枯れ(白丸内)>

昭和 58 年、県内で初めて確認された松くい虫による赤松の立枯れ、今でも所々に見受けられる。

平成 12 年、これも県内で初めてカシノナガキクイムシによるナラ等の立枯れ、特に里山が被害を受け、キノコの原木に影響したが、今では終息しつつある。

しかし、新たな被害が起きている。それは、平成 21 年頃から見られる熊やカモシカによる杉の皮はぎである。10~30 年と大切に育ててきた杉に立枯れが目立つようになってきた。打ち続く被害に、山は泣いている。

西会津国際芸術村のイベント

9/20~10/16 「第9回芸術村公募展」
9/21 フルートとギターのコンサート
10/下旬~11/上旬 半沢政人作品展
11/上旬~12/中旬 福島芸術計画西会津展
HP <http://nishiaizu-artvillage.com/>



編集後記

今年も暑い夏でしたが、皆さんお変わりございませんか？ こちらの田んぼでは稲の穂が頭を垂れてきました。第1回富士山山開きは大盛況で前日と合わせて約 100 名の参加がありました。グラジオラスも各家の庭を賑やかにしました。HPもできましたので、ぜひアクセスしてみてください。

今回より、貝沼真(中野)、長谷沼則夫(小清水)、山口茂起(漆窪)、星眞智子(泥浮)が編集を担当しています。皆さんからの色々な情報をお待ちしております。

平成 26 年 9 月 1 日 (星)